

あまとみトレイルとは

◆概要

「あまとみトレイル」とは、妙高戸隠連山国立公園を中心として地域の見所を歩いて回るロングトレイルです。環境省をはじめ、2県6市町村に及ぶ関係自治体、関係行政機関、民間団体、地域住民の協働により、ルートの検討、設定をしてきました。現在は長野駅、斑尾山を起終点とし、善光寺、戸隠、黒姫、妙高笹ヶ峰や野尻湖などの各所を結ぶ全長約86kmのルートが決定しており、今後さらに、妙高笹ヶ峰から小谷村、糸魚川市方面をつなぐルートも検討されています。決定したルートに順次標識の設置等を進め、準備が整った区間から開通します。

◆ロングトレイルとは

ロングトレイルは、歩く利用による観光活性化が目標の一つであり、縦走や稜線歩きだけに限らず、海岸線を歩くルート、古道をつなぐルート、歴史ある巡礼路など、さまざまな「歩く」ルートがあります。欧米には、3,000kmを超えるロングトレイルが整備され、世界中からたくさんの方が訪れています。

◆協議会から始まった「あまとみトレイル」

・妙高戸隠連山国立公園の協同型管理運営体制構築のために設立された「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会」では「日本一の自然と文化の遊学舎（まなびや）を目指すこと」をビジョンに掲げ、具体的な取組みとして、平成28年からロングトレイル設置の検討が進められてきました。協議会において、地元の有志などを交えて意見交換を行い、現地に足を運ぶなどを重ね、ルートや名称、シンボルマークなどを決定し、現在の「あまとみトレイル」の形になりました。

◆あまとみトレイル 名称の意味

妙高戸隠連山国立公園や周辺を代表する地名である雨飾、斑尾、戸隠、妙高、それぞれの名称から頭文字を1文字ずつとり、「あまとみ」としています。

◆シンボルマーク説明

妙高戸隠連山国立公園の特徴である火山、非火山の個性ある山並みがコンパクトにぎゅっと凝縮して存在しているイメージを表しています。ある特定の場所から見た景色などではなく、一目五山（どこからでもたくさんの山々が見られる）というイメージです。

あまとみトレイル 一部開通予定ルート(赤線)

